

## 基礎工事用途での安全装置の取扱いについて

ラフテレーンクレーンにおいて、オーガードリルを用いて基礎工事中に過負荷の繰返しが原因で、旋回ベアリングの取付けボルトが折損し、旋回体がシャシフレームより離脱する事故が発生しました。

ラフテレーンクレーンが基礎工事用途で使用される場合は、過負荷防止装置の表示機能を用いて、定格荷重相当の負荷範囲内で作業を行うことにしています。また、このことを前提として自動停止機能を解除して使用されております。

今回の事故を受け、過負荷による事故防止のため、過負荷防止装置の自動停止機能を解除することなく運転できるように安全装置についての取扱い方法を変更いたしました。

変更内容は下記の通りです。基礎工事用途でのアタッチメント作業時には、変更後の取扱い方法に従って安全作業に努めてください。

### ■ 現行の取扱い（過負荷時及びウインチ過巻時の自動停止機能の解除）

PTOスイッチを「ON（Ⅱ）」に設定し、AML 非常スイッチを「非常用」にセットする。

### ■ 変更後の取扱い（過負荷時の自動停止機能作動、ウインチ過巻時の自動停止機能解除）

1. 巻過防止装置のリミットスイッチへの配線を外し、電源線とアース線を短絡させて自動停止機能を解除する。
2. PTOスイッチを「ON（Ⅱ）」に設定し、AML 非常スイッチを「常用」にセットする。

なお、一部の機種においては、改造を加えないと変更後の取扱いができません。改造内容については、最寄の当社支店、営業所に確認してください。

#### ● 第3ウインチ付仕様で

次の機種は、AML 非常スイッチの結線の関係で、電気回路の改造が必要になります。

【 TR-250M-6, TR-350M-3, TR-500M-3, TR-250M-7, GR-250N-1 】

#### ● オーガードリル等をブーム先端に装着しブーム押し付け作業を行う場合、次の機種においては負荷検出方式の関係で、エラーが発生して停止しますので電気回路、制御ソフトの改造が必要になります。

【 GR-120N-1, GR-160N-1, TR-250M-7, GR-250N-1, GR-300N-1, GR-500N-1, GR-600N-1 】

メンテナンスのご用命はタダノ指定サービス工場へ



株式会社 タダノ CS企画部作成